

# 令和2年度 東金市地域公共交通会議 (千葉県東金市) (地域公共交通調査事業)

## 概要

東金市は、東京都心まで約50km、千葉県のほぼ中央部に位置している。人口は57,923人(令和2年4月1日現在)うち65歳以上の人口は17,246人(高齢化率29.8%)、面積は89.12km<sup>2</sup>で東側には平野部、西側には丘陵部が広がっている。国道126号線と千葉東金有料道路、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が交差し東金JCTが整備されている等、交通の要衝となっている。

公共交通の概況は、JR東金線が市の中央部を横断し、JR東金駅を起点に民間事業者が運行する路線バスやタクシーによる交通網が整備され、隣接自治体を発着点とした高速バスが市内を經由して千葉市内や東京都内まで運行され、多くの通勤通学者をはじめ市民が日常生活を営むうえでの移動手段が確保されている。

その他、本市では公共交通に関する国の方針に則り、持続可能な地域公共交通を形成するため、平成28年度に「第2次東金市総合交通計画」を策定し、地域公共交通の課題を整理し「人・地域の暮らしを支え、便利で利用しやすい持続可能な地域公共交通ネットワーク構築」を基本理念に掲げ、循環バス(2路線)、デマンド型乗合タクシー(市内全域)の運行などの事業を実施して地域公共交通ネットワークの補完に努めている。



面積	89.12km <sup>2</sup>
人口 (R2.4.1時点)	57,923人
15歳未満	6,199人
65歳以上	17,246人
高齢化率	29.77%
世帯数	26,643世帯

## 計画策定調査の必要性

現状の課題点を解決するため、公共交通だけでなく地域内の輸送サービスも考慮に入れた持続可能な地域旅客運送サービスの構築、道路網の強みを活かした新たな交通結節点の整備とまちの活性化と連携した鉄道駅における交通結節点の強化を目指すため、令和3年度に策定される東金市第4次総合計画や都市計画マスタープランとの整合性を図りつつ、第3次東金市総合交通計画(地域公共交通計画(マスタープラン))を策定する。

計画策定にあたっては、前回の計画策定から5年が経過し地域公共交通を取り巻く社会情勢の変化を踏まえて、地域の現状把握及び日常の移動実態や公共交通利用者ニーズを詳細に調査のうえ、地域公共交通網の今後のあるべき姿を調査検討していく必要がある。

## 協議会開催状況

○協議会の開催状況 1回開催

- ・第1回(7月21日)  
市内循環バス・東金市乗合タクシーの昨年度実績報告  
第3次総合交通計画の策定延期  
についての審議

## 調査の内容

—令和2年7月21日開催の地域公共交通会議にて事業を翌年度への延期を決定したため未記載—

## 調査事業の結果概要

—令和2年7月21日開催の地域公共交通会議にて事業を翌年度への延期を決定したため未記載—

## 地域公共交通計画等の策定の方針

—令和2年7月21日開催の地域公共交通会議にて事業を翌年度への延期を決定したため未記載—

## 次年度以降の取組概要

第3次東金市総合交通計画(地域公共交通計画)策定にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施ができなかった公共交通利用実態調査事業を実施する。

○ 東金市・東金市地域公共交通 体系図

東金市公共交通網図

